

宮ヶ瀬・城山・相模ダム見学会



宮ヶ瀬ダム

城山ダム

相模ダム

今回の見学会は、相模川水系の3つのダムを見学します。多くの方のご参加をお待ちしております。

日 時 令和8年11月8日(日) 7:30集合・出発
集合場所 JR新小岩駅 東北広場(裏面地図参照)
参加費 3,000円(資料、交通費の一部として)
別途費用 400円(宮ヶ瀬ダムインクライン片道料金をお預かりいたします。)
募集人数 45名(先着順) eizoutoshikeikaku@gmail.com 携帯 080-4006-8819
行 程 7:00 なぎさニュータウン(なぎさニュータウンにお住まいの方)出発
7:30 JR新小岩 東北広場出発(集合次第出発します)
10:30 宮ヶ瀬ダム見学 ※11:00~観光放流
13:30 城山ダム見学
14:40 相模ダム見学
18:00 JR新小岩 東北広場 到着予定(道路状況により流動的です。)

※当日は、次のことに関してご理解、ご協力をお願いします。

- ・昼食時間は、特に設けません。ご持参、途中のサービスエリア等で購入いただき、バス移動中等に各自ご自由をお願いします。
- ・見学行程の中に徒歩での移動がございます。歩き易い服装でご参加ください。

主催 市民防災まちづくり塾実行委員会 ・ 協賛 関東地域づくり協会

宮ヶ瀬ダム

東京都心から約 50 km、横浜や川崎の市街地から約 40 km という近さの場所にある、首都圏最大級のダムです。宮ヶ瀬ダムは皆さんの暮らしや安全を守るために、平成 13 年に神奈川県ほぼ中央を流れる相模川に注ぐ支流のひとつ、中津川に完成しました。この宮ヶ瀬ダム建設によって生まれた人造湖は、現在、神奈川県に欠かせない水源となっています。恵まれた自然環境と、東京、横浜から日帰り圏内にあるというロケーションから、自然公園としての機能をもった首都圏近郊の観光スポットとして、年間を通じてたくさんの方々がここを訪れています。



城山ダム

城山ダムは、高度経済成長で急増する水需要に対し、水道用水や発電用水の確保、洪水調節を行うことを目的に、相模川総合開発共同事業の基幹施設として、昭和 40 年（1965 年）に完成しました。クレストラジアルゲートは高さが 16.7m と当時国内最大、オリフィスラジアルゲートについても高さが 7.4m で同 2 位の大きさを誇りました。これらのゲートは、戦艦「大和」を建造した造船所で、技術的な問題点を克服して制作されたもので、呉港から横浜港までの海上輸送を経て、城山ダムに据え付けられました。これまでに 31 回の洪水調節を実施し、令和元年東日本台風(台風第 19 号)には、運用開始以来初めて、緊急放流（異常洪水時防災操作）を実施しました。



相模ダム

相模ダムは、水道用水、発電用水やかんがい用水を確保することを目的に相模川河水統制事業の基幹施設として、昭和 22 年（1947 年）に完成しました。

相模川河水統制事業

相模川河水統制事業は京浜工業地帯の工業の進展や人口の増加に伴う水道用水、工業用水及び電力需要の増大、さらには食料増産のための相模原における水田開発など、当時の社会的、経済的背景のもと、昭和 13 年に計画されました。この事業はわが国最初の河川総合開発事業である河水統制事業の一つとして、神奈川県が行った広域的な水資源開発事業で、その中核施設である相模ダムは、戦中戦後の混乱の中、物資や労働力の不足など、幾多の困難を乗り越えて、昭和 22 年に完成しました。また、相模湖の水を相模発電所で利用した後、水道原水として利用するため、放流された水を安定的に取水する目的で、沼本ダムが建設されました。その後、戦後の都市の人口増加と産業の振興による水道用水需要の急増や、相模原畑地かんがい事業をはじめとする農業用水需要の激増に対処するため、道志川上流に道志ダムを築いて調整池をつくり、ここから相模川の支川である秋山川に導水して相模湖への流入増加を図りました。



1. 視察は徒歩経路もありますので、運動靴等の靴は必須。服装は、多少汚れてもよいもの（ジーパン等）でお願いします。
2. 徒歩での移動もありますので、両手が使えようカバンはバックパックをお勧めします。飲料水もお忘れなく。万一に備えて雨具の用意もお忘れなく。なお、雨天の場合は視察ルートが変わります。
3. 場合によっては、遠方からの見学になるため、双眼鏡等をご持参下さい。

新小岩駅東北広場案内図



集合場所

ＪＲ新小岩駅北口から北口連絡通路を渡って、ロータリー広場にお集まりください。

